

● 4月1日から市の組織を改正します

市では、さまざまな行政課題への対応と、市民サービスの向上を図るために、組織を次のとおり改正します。

【課の再編と名称変更】

- ▶ 行革推進課を「行政経営課」に変更します
- ▶ 情報システム課を「情報政策課」に変更し、総務部から総合政策部の所属にします
- ▶ 契約課と検査課を統合し、「契約検査課」を設置します
- ▶ 市民生活課を「市民文化課」に変更し、市民生活における文化活動の促進と、地域交流施設に関する業務を行います
- ▶ 防災課を「危機管理課」に変更し、危機管理への対応を強化します
- ▶ 商工業振興課を分割し、工業の振興を行う「産業振興課」と、商業と観光の振興を行う「商業観光課」を設置します
- ▶ 福祉課を分割し、福祉政策の調整を行う「福祉政策課」と、生活支援を行う「生活福祉課」を設置します
- ▶ こども課を「こども支援課」に変更します
- ▶ 保育課を「保育幼稚園課」に変更し、保育所と私立幼稚園の業務を行います
- ▶ 高齢者支援課と介護保険課を統合し、「長寿安心課」を設置します
- ▶ 健康推進課を「健康づくり支援課」に変更します

【監(部長級)・担当課長の配置】

- ▶ 市民部に「危機管理監」を置きます
- ▶ 政策企画課に「総合戦略推進担当課長」を置きます
- ▶ 市民文化課に「地域交流施設推進担当課長」を置きます
- ▶ 長寿安心課に「介護保険担当課長」を置きます
- ※現在の商工業振興課の「企業支援・労政担当課長」は廃止します

【課内室の設置】

- ▶ 広報課内に「シティプロモーション推進室」を置き、シティプロモーション活動に戦略的に取り組みます
- ▶ 政策企画課内に「総合戦略推進室」を置き、狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略などを推進します

【業務の担当所管の変更】

業務	4月からの担当所管
さやま大茶会と文化団体等に関すること	市民文化課
社会福祉法人の監査	福祉政策課
臨時福祉給付金	生活福祉課
私立幼稚園就園奨励費補助金	保育幼稚園課
後期高齢者医療	保険年金課
後期高齢者医療保険料の収納	収税課
後期高齢者医療保険料、保育料、道路占用料などの滞納整理	特別滞納整理室
青少年の健全育成	社会教育課

問合せ行革推進課へ内線7051

クローズアップ

パートナー団体を募集します！

平成29年度『提案型』協働事業

市民の皆さんとの協働を実現する「協働事業提案制度」。皆さんから自由に提案していただく事業と、市が設定したテーマに沿って提案する事業の二種類の事業があります。市民の皆さんのニーズに合った公共サービスを実現するために、情報の提供や発信、経費などを支援し合い、事業を展開します。一緒に笑顔あふれる狭山を創るための提案をお待ちしています。

二種類の提案事業とは

■(その1)市民提案型協働事業
市民の皆さんが日ごろ感じている公共的な課題をテーマとした、自由な発想による協働事業です。市と協働で実施したい事業を自由に企画・提案してください。

②市民活動団体のための資金獲得講座：資金獲得のためのノウハウや活動活性化のための講座を一緒に開催します。
【担当：協働自治推進課】

③駅前発！楽しく学ぶ自分磨き講座：中央公民館で開催する、現代や地域の課題に関する講座を一緒に企画・運営します。
【担当：社会教育課】

ただし、将来的に団体の自主事業として事業を継続することが求められます。

29年6月1日～30年2月末日
事業実施期間

5名以上かつ、その過半数が市内在住・在勤・在学の会員で構成され、市内で活動する市民活動団体など。

①災害時要援護者支援事業のサポート

市が選んだ次の3つの事業のサポートを募集します。

経費の支援
市民提案型協働事業は、事業内

書類の提出
詳細な募集要項と申請書は、協働自治推進課に用意(ホームページからもダウンロード可)しています。4月7日(金)までにご応募ください。



▼子育て支援方策の拡大

9月に、狭山元氣プラザで実施した防災キャンプには、小学生を中心に95名が参加。体育館に宿泊して、不自由な避難所生活を体験しました。日ごろの備えの大切さを実感し、防災意識が高まりました。



▼狭山で産後ケア

「子育てしやすいまち狭山」を目指し、「産後ケア」を広めるための普及活動を実施。公民館などで、バランスボールを使った有酸素運動とコミュニケーションワークを行い、延べ76名が参加しました。

28年度に市民提案型協働事業として採択された7事業のうち、3事業を紹介いたします。

書類審査の後、公開プレゼンテーションを行い、狭山市協働推進委員会の審査を経て、予算の範囲内で採択します(決定は5月下旬を予定)。

ONE for All 市長が走る! ⑩

交流を重ねて20年

3月11日に、新潟県津南町の「雪まつり」に参加します。友好交流都市になって20年の節目を迎えますが、この間、多くの交流が行われ、真の友情を育むことができたのではないのでしょうか。

日本一の河岸段丘に里山の風景が広がる津南町。国内有数の豪雪地帯ですが、春にはその雪が豊かな清流となり、美味しい農産物を育ててくれます。狭山市内のイベントでも津南町の産品が販売され、「さやま大茶会」で供されるお茶に

は、名水「龍ヶ窪の水」が使われるなど、私たち市民もその恵みを受けています。

さて、雪まつりの開催日は、東日本大震災から丸6年を迎える日です。あの日の翌日、津南町も震度6弱の地震に見舞われました。後日訪問したときに、「美しい町を必ず復興させる」と涙ながらに話される町長の姿が強く印象に残っています。「ふるさとを誇りに思い、自分たちの力で町を守る」、そして、「地域の資源を最大限に生かして暮らしを作る」。そんな気概にあふれた人々との交流は、地域づくりの原点を学ばせてくれます。ぜひ一度訪れてみてください。



ラグビー競技の事前キャンプ誘致に向け、市をPRします(大使等歓迎レセプション)

市長の主な動き

- 2/1...県市長会西部ブロック市長会議
- 2/2...広域飯能斎場組合議会定例会
- 2/3...狭山茶ブランドイベント
- 2/7...夢をかなえるプロジェクト発表会
- 2/8...公立保育所はるまつり
- 2/9...川越狭山工業会市政懇談会
- 2/14・15...企業訪問
- 2/15...東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会中南米諸国大使等歓迎レセプション
- 2/22...定例記者会見
- 2/24...市議会第1回定例会